滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送
報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登
一日者每行二角每登十日
行一角五分登月者每行每
日一角登長年者價當面議
從減 每張四百文

一紙 …
一連 …
一フールスカツプ 全 …
一中判洋紙 全 …
一半紙 百枚 …
一野紙 四十枚續 …
一卷紙 …
一椅子 …
一簟笥 …
一卓子 …
一卓子掛 …
一厨房用戸棚 …
一毛布 一枚モノ …
一長火鉢 …
一箱火鉢 …
一宜德火鉢 一對 …

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

料告 一ヶ月以內 金十五仙乃至十… 一長期繼掲減價面議
發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 （電話二九番）

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話 百十番 支配人室 / 百八番 事務室
横濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
相摸丸 五月八日出帆 太沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戸行
立神丸 十一日出帆 太沽、芝罘、長崎、門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店 旗昌洋行 （電話二六番）

瀛船出帆廣告
國見丸 八日 長崎行
土洋丸 九日出帆 門司行
鷲取丸 十日 門司、神戸行
頼朝丸 十三日 門司、神戸行
金龍丸、大龍丸、國見丸 龍口定期
萬成源丸 臨時芝罘定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部 （電話五二番）

新荷着
朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部 （電話五二番）

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告
潮洲丸 十日入港乘客謝絶
南越丸 八日入港
代理店
東營口公園地横
ブツシユ兄弟商會
遠來洋行 （電話二十三番）

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製造各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不惧
再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需 國本主人啓

○○宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價值格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧易勝榮幸之至 總司理人 田中糺之助謹白
開設老爺閣街同盛德院内 電話（店一八三番 住所五五番）

○○東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便園貯油餅豆米麥更爲合宜並置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷 總司理人 葉亮卿謹白

○○東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房營業及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遇運知之 正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

○○西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

○○仁裕號
係裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

○○丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式褂子以及各様雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閲是幸
丸三洋行分莊謹啓

○○永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 東櫃（電話九十五番）
西義順棧內 西櫃（電話九十八番）

○○代代木烟公司
本行專售 日本官造紙烟 星象牌（斯達）櫻花牌（撒利）百合花牌（利利）均已馳名內外玆特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沾來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉 諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船
摩耶山丸 頼朝丸 八日
專往東洋各埠
啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全另有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷 松茂洋行（電話五十二番）

三井洋行
電話 第六十六號 第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名十概章程彷英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米、

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元，分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

瀛船出帆廣告
住吉丸 八日門司行

電話 第六十六號 第九十一號

㊞鐵道 遼河 裕和盛運輸局
（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲 運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

○矢野洋行
啓者本行開設營埠已週一載幸蒙貴客商愛顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醤油以及磁器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也
營口元神廟街 電話百三十七號 本行主人啓

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙 貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東櫃 營口南永世街北斗洋行
西櫃開設 營口西北街塘子胡同內

上海 中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設己歷多年曾與日本製造名廠料有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙訂刊彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

發賣
料木、杆子 一丈 一丈二
亞鉛板、白糖、醤油、
日本米、菓子、朝日麥酒
雜貨一切卸賣
日本酒春駒一手販賣

捌荷洋行
營口元神廟街
（電話一四七番）

税關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣
弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依頼ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口綏定門街第五〇 英國領事館東首
三仁公司 （電話一五〇號）
小島榮歲

一、東清鐵道貨物取扱
一、貨物集配
●、瀛車貨物積卸シ
右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許
丸重洋行
營口西北街（電話一八番）
牛家屯停車塲構內（電話四六番）

東三省電報總局廣告
逕啓者頃接上海電稱 各省將軍都統督撫院提鎮藩臬運道臺各關局處均鑒美屬舊金山地震成災僑属各國商工民人驟遭慘厄美廷迅即援各國亦均自救其僑民華商三萬餘人產業全燬仰蒙聖慈沛發肆萬兩飭由瑞徵購買美金電匯梁使派周參贊馳往賑撫華民因而寓滬紳商奮起一切情形均見日報海寰等先就上海萬國紅十字會籌湊銀貳万兩寓滬粵商湊集洋伍千元購美金電匯一面仍偕各紳商多方設法藉示華商以朝野上下如此同心合力切實保護所關甚鉅謹此電聞倘尊處本擬籌撥款項請速滙美京梁使收撥或將款匯滬交商會製取收條爲憑代買美金轉總祈迅速籌濟爲要 呂海寰盛宣懷楊士琦李經新劉宇泰瑞徵京炳棒匯沈敦和任錫汾周晉鑣會鑄朱佩珍施則敬任鳳苞等同叩魚等因合亟錄呈各貴官商惠鑒如有軫念同胞慨籌急賑者請速將款逕匯美京或上海商會否則逕請就近交由各該處中國電報局代收一面先給收條一面電匯滬轉以期迅速救我僑民不勝企禱謹啓

火車時刻
關內外鐵道
上り　營口發前八、二〇　七、〇〇
溝幇子同　九、四五　九、〇〇
錦州同后三、四五　二、〇〇
下り　山海關發前七、〇五　四、四五
錦州同后三、二五　二、〇五
溝幇子同　二、四五　四、四〇
東淸鐵道
上り　新民屯發前六、〇〇　溝幇子着同九、一七
下り　溝幇子發后三、〇〇　新民屯着同六、一七
營口發前六、三三　后九、三五　大石橋發前八、二五　后一一、一五

諸鐵工製作　營口　川鐵

梅毒婦人科　外科胃腸病　專門日本醫院

廣告取消　滿洲日報第二二二号二二三号五月四日五月五日

天氣　營口地方天氣豫報　自七日午後六時至八日午後六時　北又は東の風曇り少

東京電報

●林大使の着京　林大使は昨夜着京せり

●若槻次官の歸京期　目下安東縣滯在中なる若槻次官の一行は十三日頃歸京の豫定なり

●陛下の御下問　佐久間大島兩總督長谷川司令官外各師團長は何れも御座所に召され各管下の軍情を御下問あり次　御陪食仰付けられたり

●凱旋歡迎會　東京市の最后の凱旋歡迎會は頗る盛況なり

●大東溝の開放　大東溝は安東縣と同時に開放されたり

●陸軍大宴會　四日開催されし新宿御苑の陸軍大宴會は列席者五千にして頗る盛大なりしと

●臺灣と富籤　臺灣に富籤發行許可されん

●林大使と外相　林大使は外相と爲る可からずと勸告する者あり

（以上五月七日發電）

北京電報

●ロツクヒル氏の照會　ロツクヒル氏は奉天府及安東縣は米清條約に依り開放さるべきものなれば開放に就ては米國に協議されたしと外務部に照會せり

（以上五月七日發電）

遼陽電報

（六日午后三時遼陽特派員發電）

●關東總督府の出發　豫定の如く關東總督府は本日午後零時二十九分發列車にて移轉せり日清官民の見送人多し

●落合少將の昌圖行　關東總督府參謀長落合少將は昨朝急に或用向を帶び昌圖に向け出發せり

倫敦電報

●教育法案反對　反對黨は教育法案第二讀會に於て一致反對すへし

●所得稅調査委員任命　所得稅に等級を附する爲め調査委員の任命あり

●露國首相の退隱　露國首相ウイツテ伯は退隱して政治に關係せす（既に辭職せしものと思はる後報を待つ）

●獨乙大使の通報　英國駐劄獨逸大使メツテルニと伯爵は英國外務大臣グレー卿に通報して曰く若土耳其か英國と隙を開くことあらば土耳其は獨逸より援助を受くることを期する能はすと

●大統領の英皇請待　フランス大統領はエリシー宮殿に於て英國皇帝を晩餐に招待せり席上熱心なる歡迎演說及答辭あり

●杜國と清國勞働者　トランスバール國ランドに於て若清國勞働者が本國に皈ることを望むものは金錢上の補助を受くへきことを布告せり

（以上五月四日發電）

●英國の對土通知　英國は土耳其に最後の通牒の性質を帶ぶる通知を送り埃及領地より土耳其軍隊を撤退せんことを要求せり

●エルアリシの境界　カイロよりの電報に因ればエルアリシに於る境界柱は確に取除かれしが如く土耳其の一軍隊は埃及の一部を占領し居れり土耳其の態度に不安の念を抱く者あり

●英國藏相の訓令　大藏大臣アスキス氏は關稅收入吏に訓令を下して茶稅減稅の期日變更より生する不足を補ふの道を講せり

（以上五月五日發電）

雜報

●鐵道受領雜記（承前）　特派員

▲公主陵の狀況一斑　二十六日公主陵に至る公主陵には鐵道附屬の家屋百六七十戶あり二等停車場にして機關庫二個あり一は扇狀を成し一は普通のものなり兩所合して三十輛を容るへし急造兵營の大なるもの十四五棟皆完全して一も破壞しあらす守備哥薩克兵一個中隊餘あり停車場には七條のレールを敷く給水其他の整備大に整ふ公主嶺の市街は停車場を西に距る約十淸里山水明媚最も風光に富む蓋し滿洲中多く見さる所の勝區なり傳へて成吉斯汗陵墓の在る處といふ奉天役後露軍總帥ロクパトキン此地に退嬰しリネーヴイチ將軍亦暫く其本營を置く然れとも停車場附近は茫漠たる原野にして支那土民の家屋亦在る無く今は頗る寂寥を極む

▲汽車中の會議　公主陵に至るの日を以て一行は直に歸途に就き四平街に到る列車亦特別仕立にして所謂軍用列車なり四壁鐵板を以て成り中にコルクを塡充す電燈の設備より客室食堂善美を盡くして毫も間然する所なし滊車中我委員は又露國委員と會同して會議を開始すると兩三次晩十二時に至り全く終結す蓋し二十五日四平街に於ける會見已に彼我の討議を盡くすと雖も尙其成議をして錯誤を生せさらしめんが爲め各々日露兩國文に飜譯する等意外の手數を要せるを以てなり已に四平街に歸る乃ち二十六日早朝彼我兩全權は袂を分かちて各々南北に向ひて別かる（完）

●奉天通信　五月三日　特別通信員報

▲宮陵及城樓の修繕　趙將軍は昨年以來當地金鑾殿宮城東北兩陵及其城樓等の大修繕を爲す計畫にて愈々本年度より着手する筈なりしが此次興學費金缺乏の爲め財力を同方面にそゝぎ宮陵城壕等は暫く小修繕に止る事となり已に金鑾殿及び各陵寢とも小修繕に取りかゝり居れり

▲輕便鐵道の客車　奉天停車場より城內に至る輕便鐵道は關東公司にて引受營業することゝなり已に貨物は輸送し居たるが本日より客車開通することゝなりたり當分の內停車場より小西邊門を經て小西門に至る間にして各小西邊門の中央に劃して二區となし一區賃錢十錢二區通しは十五錢なり乘車切符は停車場構外と小西邊門外と關東公司にて賣捌き購買したる切符は其日にからさるも何時にても乘車し得へしと云ふ客車は他地方に使用せるものと異り有蓋にして定員四名手荷物を載せ得る餘裕あり苦力も一定の服裝を着用せしむるとの事にて比較的整ひ居れり當分の內夜間及ひ雨天は開通せすとこは可成開通させて貰ひたきものなり又た追々は小東門迄全通せしむへき計畫の由なれとも市平街の如き道路狹窄にして商廛櫛比行人肩摩する中を無遠慮にトロツクの開通せむは如何のものにや馬驚き人驚き折角の買物も落ち付いて出來ぬ樣にならすやとは生の杞憂なり可成は小西門迄に止められたきものなり

▲奉天郵便局　漸次邦人の居住多く殊に尨大なる奉天都城內外に散在居住する上に邦人新開地の事とて居住者亦た異動頻々なるを以て郵便局當局の困難は推するに餘りあり然れとも銳意郵便の速達を計り各種困難に打ち克ちて此頃頗る成色あり配達亦た日に迅速となり出來へき丈け邦人の便利を計る事に勉められ近々また城內外各要區に切手賣捌所及ひポスト設置せらるへしと云ふ此上望蜀の注文は營口同樣普通商民へも小包郵便の開始ありたきものなり婦人用伊達帶一本通譯官の名儀を借りて內地より取り寄するもある等の滑稽は兎に角五十步百步一般人民にも小包開始の日速やかならむことを望むで止ます

●遼陽通信　四月四日　綠城生

▲遼陽城外の邦人の夜警　近來匪賊の徘徊出沒甚しく西門外並西關一体に居住する本邦人の盜難に罹るもの頻出し曩きに井門洋行支店は千數百圓の難に遭ひ先頃丸山某は五百圓を掠取されたるが元來西門外並西關は最も本邦人の居住者多きも點々散在し其の地域も廣ければ夜間匪徒の出沒を自由ならしむるの虞あり又匪賊の多くは兇器を携へ頗る危險なるより西門外並西關に居住する邦人申合せ夜警を行ふ計劃にて昨今其の準備中なりと云ふ今其夜警方法を聞くに夜警手として邦人三名淸人三名を雇入れ巡邏區を三區に分ち一區に邦人一名淸人一名つゝとなし午後十一時より翌午前四時迄其の擔當巡邏區を見廻り夜警手の巡邏する時は銅鑼を鳴らし若し非常の事あれは之を亂打して急を告げ尠くとも一區を三十分每に見廻はる方針なりと尙其筋に於ては警戒怠りなく夜間守備兵の巡邏頻繁となりたれは昨今盜難の聲を絕ち目下平穩の狀態にあるものゝ如し

▲高等旅館の設備　滿洲の地何處も同じく邦人の營む旅館は料理屋の兼業にて給仕婢と目すへきものは皆是れ醜業婦の類なりされは纏頭の厚薄によりて待遇を異にし甚しきに至りては旅客を扱ふに居候扱ひを以てするなと珍らしからす殊に隣室に絃聲湧き談笑起り美形喃々の聲を聞くに就ては夢魂も破ふれ旅客をして不快の念を起さしむ這は從來避け難き事情に伴ふ通弊として許容すへきも何日までも混沌たる時代にあらす今や着々萬端緖に附きつゝあれは此等の弊を一掃するは蓋し差當り急務なるへきが、尙當地には高等旅館を標榜すへき設備のものなく往々遠來の貴賓あるも魔窟同樣なる曖昧旅館を忍んで靡かに用を辨するに過きさる狀態にて心あるもの私かに眉を顰め居りたるか日本人會は頃日提議して當地軍政署に交涉し遼東ホテルを以て高等旅館に指定せんとして目下運動中なるが遼東ホテルに於ても愈々指定の曉には從來の規模を一變し旅館部と料理部に一區劃をなし給仕婢は一定して行儀作法等萬端に注意を拂ひ尙大連より高尙なる馬車を取り寄せ停車場に至る旅客の送迎は素より其他の所用に供し一切誠實に旅客を取扱ひ高等旅館としての面目を保たん方針なりと聞けり

●奉天に於ける赤十字業　日本赤十字社か今回の戰役に際し滿洲各地に於て行動したる傷病患者救護事業に對し淸國官民は多大の同情を表し奮て同社博愛の主旨を協贊し加盟者日に增加の勢ひなるか此程奉天にありては金二百圓を寄附し特別社員たるもの三十一名終身正社員たるもの八百三十一名ありて頗る盛況を呈し尙陸續申込のものある由殊に同地の社員は申合せ來る六月東京に開く社員の總會に參列し傍ら我國の觀光を爲さんとするもの多しといふ今其特別社員の人名を擧ぐれは左の如し

祥瑞、世和、王連貴、世忠、常立箴、李春路、胡銘三、翟子安、毛雲生、章越、陳文軒、多文、顏錫五、王福祥、李綿花、張茂恒、趙永泰、趙淸璽、常立綱、維明、段貴昌、貴李氏、高英堂、瑞祿、張釆亭、宋德、李立軒、維淸、苑子餘、王福元、鮮俊英、

●四月中船舶出入數　其筋の調査にかゝる四月中の各國滊船の入港數は百卅五艘にして出港滊船は百卅六艘なりと云ふ而して之れが國籍は日英淸獨諾瑞の六ヶ國にして其內譯を揭くれは左の如し

	入港船數	出港船數
日本	六八	五八
英國	三八	四五
獨逸	七	八
諾威	一三	一四
淸國	九	一〇
瑞典	一三	一一

●荻原總領事の來營　奉天總領事荻原守一氏は一昨夕來營領事館に滯在中なるか本日大連に向ひ出發すへしといふ

●新渡部博士の來營　京都帝國大學教授新渡部博士は歸朝の途次營口視察の爲め昨夜十一時奉天より來營直に滿洲ホテルに投宿せり

●石川赤十字社協贊員　日本赤十字社協贊員石川千尋氏は去月中旬より社旨普及の爲め滿洲各地を巡回中の所此程大連に歸着し當分同地に於て社業に從事すといふ

●廣島縣人親睦會延期　明後十日を以て開催せらるへき同會は幹旋人病氣の爲め準備未だ整はさるを以て十五日に延期することゝ爲れりといふ

●奉天の本社投書函設置　奉天本社支局に於ては今回十間房及ひ小西關大街市平街大街（關東公司）の三個所に本社投書函を新設したるを以て同地愛讀家は故意の中傷風俗の壞亂に涉らさる以上氣焰可なり不平可なり珍話可なり奇聞可なり續々投書せられんことを望む開函は支局中係員を設けて每月曜日に開函一束して之を本社に送附することとせり投書は總べて簡明を主とす

●一昨日の寫眞會　一昨日の日曜日には豫報の如く三船館に於て盛京寫眞倶樂部第二次例會を開催せるが出席者二十餘名各自撮影の寫眞は創立日尙淺く未た出品すへき程の製作品無かりし爲め品評會を開くに至らさりしは遺憾なりしも出席者一同の撮影を行ひ終りて會則改正等に就き協議し頗る盛會なりしといふ

●滿洲商家名鑑　曾て本紙廣告面に揭載され居たる滿洲商家名鑑は大阪朝日通信員安齋源一郎氏の手に編纂さるゝものなるが全滿洲の商家を一括して一時に梓に上せんは容易の事にあらさるのみならず時に杜撰の譏を招くの嫌なしとせず仍て之れを日刊と爲し完成の時に於て更らに修補改訂之れを合本と爲し名鑑として名に耻ちさる一の冊子に製本する筈なりといふ

商況

●材木の近狀

▲材木の在高　現在營口に在る材木は之を時價に計算して日本人側の所有約三十万圓支那人側の所有約二十万圓即ち双方の在荷を合計して約五十万圓位なり

▲材木の種類　以上の中日本人側の材木は主に戰爭時代の殘品にして戰時用品大部分を占め唯た埴川商店に於て土人向き丸太類を所有するのみ尙は支那人側の所有品は概して福州よりの輸入に係りし丸太類にして角物は戰爭の爲に鴨綠江の品昨年來少しも輸入無き爲に目下品切の体に在り

▲日淸材木商　昨年來弗々開業する者もあり目下市內に在る日本の材木商は十四五名に達せり此內同業組合に加入せる者七名其他は凡て組合外に在り尙は支那人の材木商は總計に於て四十余名に達せるを見る而して以上は日淸兩國の材木商の外に西洋人の材木を販賣する商人二軒あり材木は主に米利堅材にして長尺の角物にして中には六十尺にも至る者あり用途は軍政署の護岸工事等に最も適當也

▲目下の需用　目下最も需用多きは土人向きの丸太品にして主に新民屯、錦州、牛莊、田庄臺等の支那人に依りて買入れらる尙は目下の土人の需用高を昨年の當節頃に比較すれば約六七倍の增加なり蓋し戰爭中日本品を實見して其眞價を知りたる結果なるへし

▲邦人の需用　土人の需用が非常に增加せしに反し邦人の需用は戰爭の終局と共に益々減少するの一方なり殊に昨今は牛家屯の新工事を氣問へして造作等も全く放任するの有樣にして需用殆んと絕無なり

▲目下の商況　以上の次第なれば商況は頗る寂寥の方にもあらされとも亦た格別の事もなし唯た氣合は商況に比較し牛家屯の新工事を氣問へて寧ろ强過るの感あれとも假に牛家屯の工事費を百萬圓と見積りて就中材木の必用額を推算すれは約三十万圓內外に過きす然るに三十万圓位の品物は現在と雖も邦人の手にあれは實際に於ては格別氣問へる程の價値はあらさるなり

▲目下の相場　目下の相場は甚た安し假に[illegible]邊の相場に比較するも尙は一段下位に在り大略左の如し

杉材用　一才　六錢五厘以上七錢五厘迄
　平均七錢內外
板物　松板並一寸一圓八十錢以上二圓迄、[illegible]
　小一寸二圓廿錢以上二圓五十錢迄、[illegible]
　一圓三十錢以上一圓五十錢迄、四分板
　一圓十錢以上一圓三十錢迄
丸太　二末間口徑四寸一圓內外、同五寸[illegible]
　六十錢前後

▲在品の細別　日商中目下材木の最も多くを所持するは埴川商店にして金額に計算すれば約六万圓程あり而して其品は丸太、北海道松、秋田杉板類等也埴川商店に次て多數を有するは秋田洋行にして總体に於て二万四五千圓の品あり但し秋田洋行の品は主に內地材也秋田洋行以下に於ては特記すへき丈けの品を所有する者なし強て記すれは喜久洋行及ひ淸水材木店位の者にして各其品は一万圓以上に上らさるへし而して其品は又た大抵秋田洋行の物と同しく主に內地人向きなり

▲將來の輸入　其筋の商人の計算に依れは本月末迄には輕く見るも十五万圓以上の材木輸入すへしと云ふ而して就中最も多額を輸入するは埴川洋行にして即ち仝洋行一軒の分にても七万圓以上の材木は本月末迄に輸入せらるへし尙は仝洋行か解氷後、今日迄に輸入せし材木は約一万圓位なりと云ふ更に六七月頃に至れば輸入は又た大に減すへきも各店を通して算すれは每月万圓位の品は引續き輸入せんとなり

●馬賊の死刑　滿洲內地を橫行し或は旅行者に危害を加へ或は民家に闖入し數千圓を强奪したる奉天省金州城人現時營口永世街に旅宿屋を業とせる李雲和（廿三）は去る三月三十日當分遣署の手にて捕縛せられ其後嚴重なる取調を受けたる結果逐一自白したる由にて多分本日死刑の宣告ある筈なりと尙詳細は次號の紙上に揭載することとせん

●强盜嫌疑者の捕縛（邦人）　過る五月の午後十一時頃南永世街淸人雜貨商薛慶余方へ突然二名の强盜覆面にてピストルを手にして闖入し有金銀十八圓を强奪し跡白浪と消え失せたるが急報第五派遣所に傳はるや同所詰淸水上等兵は早速此旨々本署へ電話にて報告し一面非常線を張り探査中の所計らす元神廟街金城館向側菓子商山下金十方同居人藤井仲太なる者該犯人の一人なる事を看破し早速捕縛の上司法部に引致し嚴しく取調中なりと因に共犯者の一人は現場より逃走し昨今探査中なりと

新作小説 おとし胤 (五十六)

德田秋聲

では、一庭園内に於ける奇遇といふべきものであらう。偶然か、必然か。一家内に於ける三角同盟者は、期せずして、茲、梧桐の樹下に落合ツたのであツた。夜風、そよりと渡ツて、梧桐の枯葉は、一としきり悲しげな音を立てた。月の光は、次第に冴えて、今や庭内を隈なく照らす。

「ま、何うなすツたの。」

と輝子と呼ばれる家庭教師は、少し狼狽えた語調。

「先生、何時お歸りなすツて。」

と光は、慌てゝ、そして懐慕しげに輝子の傍へ駈寄ツた。

「二時間ばかり前に………」と謂ツて、輝子は輕く、光の手を把りながら「おゝ、冷い手だ。」

「冷めたくツて………」

と光は、押へるやうに、ぴツたり輝子に寄添ツた。顔を傾げて、その顔を覗き込むやうにすると、輝子の眼は、自分に通ツてゐない。輝子は、數馬と眼と眼で、何やら應答してゐるのであツた。

光は、はツと思ツた。そして熱田の言を思出して、急に自分の立場を失ツた心地。何か極が惡くなツて來て、どぎまぎする。謂はれぬ嫌な思に、氣が重くなる。何か怖ろしい物にでも觸ツてゐたやうに、ついと、輝子を離れやうとすると、輝子は、また手を強く握ツて、

「貴方、薄着おやなくツて。風邪を冒いては可けませんよ。」

とにツこりする。光は、何か氣がわく〳〵して、謂はれぬ窮屈を感じた。此うなツては、進退度を失ツて、光には何うすれば可いか解らなくなツて了ツた。まご〳〵してゐると、丁度父が、光の來た徑の反對の側から本家に向ツて歩いてゐるのが眼に付いた。

「あら、父様が………」

と囁くやうにいふと、輝子も、その方を眺める、數馬も眺める。三人の眼は、殆ど同時に海鹿子爵の一身に集ツた。思做か、腕を組むで、頭を垂れてゐる姿は、何か深く屈托してゐるやうに見受けられた。歩も、遲い。

それを機にして、光は、

「阿父様お家へお入りなさいますから、私もお家へ入りませう。」

と氣の扱けたやうにいふと、輝子は、握ツてゐた手を緩める。光は、これをまた變に思ツた。

すると、數馬は、

「可いぢやないか。これから三人で散歩しやう。家へ入ツたツて、今夜は何うせ碌なことを聞きやしない。」

と親切なやうな言だが、何んだか冷淡に聞えた。眞ンのお愛想のやうに思はれた。光は更に氣を不快くした。それでも何うしやうかと氣迷ツてゐると、

「貴方、何うなすツて。」

と輝子は、妙に冷に、催促するやうにいふ。光は、輝子が熱心に勸めるであらうと思ツてゐた。また勸められたら、一所に行く積であツたところへ、此の冷な言を聞いて、些か拍子拔がした。それで、

「私、失禮してよ。」

と凛と謂放ツて、手を振切ツた。そして、後をも見ずに、さツさと家の方へ歩み出した。それでも、數馬も引止めやうとしなければ、輝子も止めて呉れない。

光は、何んといふことは無く腹が立ツた。何んといふことは無くむしやくしやした。もう家へ入らうとする時分に、ふと後を振向いて見ると木立がくれに、兩人押聯んで築山の方へ行く影が見えた。

光は、何か情けなくなツて、

「あんまりだわ!」

と呟いた。光は、此の時始めて、怨もだけの因も無いのに、他を怨む味を覺えたのであツた。

同時にまた、頼にする人の頼の無いこと、他の心の冷さを痛切に感じたのであツた。

「私には、誰も頼になツて呉れる人が無いんだわ。こんな時に健三がゐて呉れたら、どんなに力になるだらう。だけども、遠くに離れてゐるから爲方が無いし………」と考へて來て、ふと、また熱田のことを思出して、「那の方、眞ンとに那の方お優しい方だけど、阿父様あんな事を有仰ツて、眞ンとかしら?………狼のやうな方だなんて、眞ンとに然うかしら?………私、何うも然うは思はれないけども!」

と考へてゐるうちに、何時か、自分の室まで來て了ツた。洋燈薄く灯れて、室は寂としてゐた。光は、密と室へ入ツて、そして机の前にぶツ座ツて、机に身を投掛けながら、熟と考込むだ。

春十句

梅の里人

萌出でし草かくれけり春の雪
かもめ去りて小島かすめり春の海
堤上の櫻うつれり春の水
散り殘る梅を拂ふや春の風
深山木も聚きさせり春日和
朝日かげうけて上れる雲雀かな
打ち出す鐘に暮れけり花の山
小春日や節も長閑の兒守唄
牛つなぐ櫻の下やおぼろ月
菜の畑靜かに降るや春の雨

●でたらめ草　營口で日本より進歩した物は東洋車であらう日本ではまだ提灯をつけるが營口のは角燈を二ツも梶棒につけるべく出來て居る

廣告

社告

今般左記各地へ本社支局及販賣所を開設致し其地に於ける滿洲日報販賣廣告印刷物取次等の業務に從事爲致候間購讀及依賴者諸君は支局又は販賣所へ御申込被下度此段謹告候也

大石橋市街　瑞穗洋行
遼陽西門外　芳文館
奉天大南門内景祐宮胡同　本社支局
鐵嶺南門内　東雙泰
安東縣新市街　東華公司
新民府　泰東公司

●廣島縣人親睦會

候は春光燦として邦土には今や百花の爛熳たる、滿洲に在て觀るに由なく終日俗塵萬丈の巷に馳驅し役々勞作するもの是れを在滿の人に於て見る此際此時吾縣人一堂に會し以て親睦の宴を張り疲憊せる腦底に慰藉を促すと共に已に現下に迫れる平和の戰鬪に對する善後の策を研究するの又徒事に非さるを惟ひ茲に此事あるを致す幸に我縣出身の志奮て御參會あらんことを希望す

會場　營口河岸通り日營ホテル
期日　五月十日午後四時
申込所　會場たる日營ホテル　永世街二本町　川本活版所
申込期日　五月八日正午迄
會費　銀貳圓　但會費は申込の際持參の事
明治三十九年四月日
發起人　一同

●森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す（産婆大道しげ子）
院長　醫學得業士　森矯
副院長　醫學得業士　長船郁太郎
●●●●●●●●●●●
一本院齒科開設（五月一日より開始）
齒科醫　兒島市郎
森病院（電話一五五）

高野孟矩法律事務所

大連市監部通二丁目五百廿五番地
高野孟矩法律事務所
但高野孟矩不在の節は辨護士戸口茂里代て事務を扱ふ
東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河内町一丁目六十七番地
追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋靜岡横濱宇都宮神戸廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依賴に可應候

和洋御料理　一力

廣告代

弊店儀開業以來各位の御引立に預り日増隆盛に赴き候段奉鳴謝候隨て今般各位御愛顧の萬分一に酬ひん爲め内地より有名の料理人並に藝者仲居を呼寄せ殺風景なる滿洲に得難き珍味と快感を相供度座席裝飾に至る迄凡て一新致候間續々御來遊被成下度奉希上候

樓主　敬白

一稅關手續

一船舶陸揚荷物
一日本帆船
一倉入荷物
一委託販賣
一荷物保管

取扱

右誠實敏速を旨とし御用命に應し可申候條陸續御愛顧を偏に奉希上候
尚日々〇の腕章付したる店員御伺せ申上候に付多少不拘御用命仰付被成度願上候

營口市街　永世街　鐵道驛前　精心洋行

古料理　滿月

平野町（電一六二）
滿月支店　平野町入口
店主　青木勝惠

御手輕料理

一釜飯御一人前　五十錢より
一湯豆腐　一壺　廿五錢より
右之外御誂に應す
營口元神廟街二〇九號
月の翁亭

入札競賣廣告

一洗石鹼　五百四十九捆但し三箱縊
右物品來る五月十日當行倉庫に於て左の條件により入札競賣に附す
一入札希望者は五月十日正午迄て現品を熟覽の上入札するを
一入札は即時開札す
一落札は最高入札者とす
一落札者は當日現金を以て其代金を仕拂ふ事「若し不履行の場合は落札無効たるへし」

松茂洋行

滊船出入帆案内

住吉丸　八日出帆門司直行横濱行
南越丸　八日入港
潮洲丸　十日入港
客船　鷹取丸　千八百七十五噸　速力十二哩　九日出港門司直行
内地行載戻ノ荷物幸便有之候間至急御申込被下度候

船舶代理貨物仲立　輸出入稅關手續
解船人夫運搬請負　水陸輸送貨物仲次所　諸品委托賣買　倉庫業
西七街　德重洋行

日華貿易兼運輸業　開業廣告

一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聯か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候

月日
元神廟街二四八號（電話局向）
義安公司

會席料理　三日月

營口警務課前南へ入

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し最に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし

營口　瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白

營口瀛華實學院

質屋營業

精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口永世街南裏第三十六號
北斗洋行質屋部

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理を始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御銚子揃へて一圓以下に御遊びを願ふ主旨に御座候間何卒倍舊御引立の程偏に御願申上候

營口二本町　梅廼家　田村瀧太郎

和洋雜貨　盛進商行

新着
椅子卓子。窓懸。卓懸。花莚。マット。油多加織。ビロードセン。

御料理　雪月花　まつのや

板場新來了料理は高尚ト清潔ト廉價ト輕便トヲ打テ一團ノ雪月花ノ會席ト仕徐へ御意ニ從ヒナンデモヲス ビヽガイ ゲンシン
新來の姿等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます
まつのや藝妓　仝 松吉　仝 ふで　二〇か　義太夫 牛莊
御客樣方

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材

營口永世街八十號
喜久洋行
（電話百五十二番）

各國高等雜貨
電話百五十四番

新荷着
歐米各國高等化粧品、新流行夏帽、靴旅行巾鞄各種 籐製寢臺、椅子、御婦人用小間物種々
其外珍敷品澤山

營口永世街 **川上洋行雜貨部**

廣告

當公司今般業務擴張の爲め特に敏腕熟練なる技術者數名を聘し公私を問はす和洋各種の建築及土木事業に關する製圖設計監督の依托に應し最も懇切敏速に處辨す

建築部主任技師工學士 **森川範一**
土木部主任技師 **永原万吉**

營口元神廟街第百七十二號（電話一七三番）
土木建築請負業 **井上公司**

萬代不朽 **毛製屋根瓦ラバロイド及リサイト販賣廣告**

ラバロイドルーヒングは堅牢にして極寒炎暑の候に耐へ如何なる地にても不適の場所なく破損漏水の憂なく良く極寒炎暑の地に適し床及階段等の敷物に有効なり
リサイトは室內裝飾塗料にして通常ペンキの如く臭氣なく變色の憂決してなし

米國紐育スタンダードペイント會社東洋特約一手直輸入販賣元穴原商會營口特約販賣店

營口元神廟街第百七十二号（電話一七三番）
井上公司

大日本政府特定
營口製紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行
營口永世街

材木 荒物 販賣

秋田洋行
營口永世街第一八四號（中野町）
本店 下關 秋田寅之輔商店

銘酒 白鶴
諸雜貨

今般新荷着仕候に付ては卸小賣とも是迄の賣價段より壹割引 酒及米、罐詰類は五步引を以て販賣仕候間多少に不拘御用命被仰付度偏に奉願候 敬具

營口元神廟街 **井門洋行** 電話一八五
遼陽西門外 **仝支店**

日本有名秘藥物產發賣廣告

[illegible]

同 三木大洋行
大藥房 （電話百九十番） 啓

大日本有名化粧品賣藥一切 卸小賣

[illegible]

營口永世街 同 三木大洋行
大藥房 （電話百九十番）

營口元神廟街
飯塚工程局材料部
（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

東營口西北街
裕和盛
電話八一番

東淸鐵道遼河貨物運送業
雜貨商

新荷着
朝日ビール
日本酒澤の鶴
洋酒、食料品
和洋罐詰、食器
內外煙草、葉卷
エンブト、文具
化粧品、金物類
肥前白米、醬油
酢、木炭、其外
色々
御並に小賣

彩票
每月 大連 鐵嶺 南洋 湖北 發賣

本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

發賣 材木 棕子 木炭
塩川商會

清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉（電話三六番）

遼陽小西門內
鹽川商會 建築

外に
電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
用材北海道產松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

自造 煉瓦●瓦
並に各種石材販賣

營口青堆子
加州組
（電話八十六番）

ペンキ塗請負
京阪組
營口豐濟門街李俊宅前
榎本康平

一關內外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續 但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大淸通運公司
營口支店

萬事勉強乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 **東京樓**
店主 熊田兼次郎
（電話百七十八番）

卽席和洋料理 **東京樓支店**
（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需に應ず

御披露

今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候
月 日
鐵嶺西門外火神廟六十一號
支店 **高砂ホテル**

一、稅關手續
一船舶輸出入荷物取扱、荷物保管
一日本郵船部、回漕部
一爲替附キ荷物ヘ便利ヲ計リ可申候
一引換荷物附ニ相成レヘ諸費立換ヘ配達致シ保管可申候

市時計場北店三ノ階二樓備
宮原公司

營口 大石橋 海城 湯崗溫泉全停車場 遼陽 奉天

滿洲第一湯崗溫泉

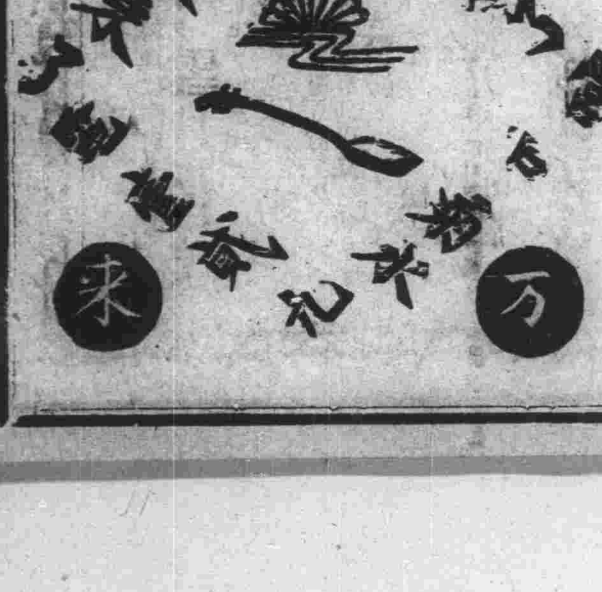
風景佳絕、旅館、料理、遊技完備
效能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡

時下艶春花を見るの好時機と相成候處各位益々御淸康の段奉賀候降而弊閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室內の衞生裝飾等細大漏らさず御客樣への御便利充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候 敬白

營口二本町
祇園閣旅館部
主人
（電話一四四番）

各位

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一（森病院三軒目）
（電話百二十七號）



開行
山海關發前六、五五　北京發前八、〇〇
塘沽同后二、〇　天津同　一一、〇九　六、三五
天津着三、五四　塘沽同后三、三〇前一〇、四五
北京着六、四五　山海關着六、一〇　六、一
大石橋發前八、〇五后一、〇五　大石橋發前七、三五后一〇、三五
南關嶺后九、〇七　奉天同后三、五七前六、五七
大連着同九、五〇　鐵嶺着同七、三〇同一〇、五五
昌圖着　同一、一五　一一、一五

土木建築用鐵材料　其外鑄物諸般　門會街東　喜場

輕便入院　永世街警務課ノ前

(商…)現時滿洲捷所在地建物賣却入札云々は事實の間違ひに付き取消す

昨日の氣溫　最高溫度六十八度　最低溫度五十四度　昨年と比　高九度　高十度五

宮門抄

十一日　外務部　欽天監　侍衛處　値日　無引見
恩　分發補用知府廣昆崇凱謝恩　新授直隸總兵王英楷謝
恩　張建勳子齊慶謝以道員用恩　文淇松山朱顯廷伺候
召見　溥倬請假十日　兵部奏派查齋王大臣
派出常山　誠全　恒順　樸壽　祥普　全福　黃永安　德峰
値年旗奏派値年王大臣　派出　岫山
召見軍機　文淇　松山　朱顯廷　王英楷
外務部遞封奏二件

上諭恭錄

十一日奉
上諭浙江寧紹台道員缺着世增補授欽此

論說

論勢

天之生物也。必與以自衛之資。使能遠禍避害。而無罹於危險之虞。故去其角者予以齒。兩其足者傳之翼。凡所以保其生命。謀其捍禦者。已周且詳矣。其無角者。齒足以自衛。天與以齒。所以增其勢也。足少者。翼足以自衛。天與以翼。亦所以增其勢也。若人則以耳目手足自衛。以聰明才智自衛。耳目手足。聰明才智。是即箇人之勢也。國則以山川險要自衛。以億兆人民自衛。山川險要。億兆民人。是即國家之勢也。國有勢則興。無勢則廢。得勢則强。失勢則弱。然則微而庶物。小而一人。大而一國。固不可無勢也。明矣。雖然勢亦有辨。有文明之勢。有野蠻之勢。逞强暴。恣殺戮。丁侵略。喜吞倂。不由理道。肆其凶殘。揮我鐵拳。欺凌柔弱。此野蠻之勢。甚異於文明者也。至政教風俗。日臻美善。兵農禮樂。漸即完全。求之在己。在在無可蹈之瑕。衡之於人。著著無可抵之隙。膨漲發達。孜孜進化。此文明之勢。大異於野蠻者也。方今二十世紀。列强競爭。有進攻。無退步。有積極之政策。無消極之政策。儼乎一角逐之戲場。勢力之世界。倘於此而勢力稍形弱點。他人即乘虛而來攻。此退一寸。彼進一尺。此遜一著。彼占全勝。得勢失勢之分。誠有萬分劇烈之現象。第人人有足以自衛之勢。則其國必强且富。而無難競美於列邦。圖存於斯世。然國家之大勢。其要雖在乎尚武强兵。而所以輔此尚武强兵者。學爲先。工商次之。各國莫不有學。學堂之科目程度。無不完備。萃全國人之精神。組織導引。而富强之基礎。即已植於萬衆人之心。而牢不可拔。有事之際。兵出則勝。無攻不克。無堅不摧。而不知其講求於平日。訓練於夙昔者。詳矣。備矣。他如工商研究。臨時皆足以補助兵力。軍需要品。商則速爲運輸。軍隊戰備。工則豫爲製造。至其運輸之靈捷。昔日滊車用木路。而不能耐久。今則用鐵軌。且將漸次而均變爲電車。無須煤炭矣。戰具昔用來弗。今則快鎗無煙藥矣。炮有快炮。已覺其精。今則有毒烟炮等類矣。船有鋼甲、魚雷等。快艦快艇。今則日變日速。愈改愈堅。而魚雷且有一人牛岸。操縱無誤。進退自如者矣。車有人力馬力等輕便類之具。今則有電氣自轉車。無須鐵軌。無間高下。圓轉如意。備蔽堅固。並可列炮攻擊。升降綽裕矣。凡此皆工商足以輔兵之勢。而均莫非張其國勢也。總之商界之懋遷便利也。工界之製造日新也。兵界之武勇卓著也。農界之生殖繁盛也。皆學界之規模盡善。有以蔚成國幹。造就無數之人才也。一國之學堂多而善。則一國之勢力强。國民之資格進。中國今日極力興學矣。固欲求工商之日進。兵制之漸完也。而學堂之教術。得人與否。學生之日後。成就與否。尚不可知。則國勢之强。須俟異日。未可一蹴幾也。然愚得意測而斷之曰。欲强國勢。固在興學。欲勵衆業。學亦難緩。然總在於人人有愛國之心。眞實無僞。而後乃可爭勝於衝波激浪之內。屹立於歐風亞雨之交。其勢始有進而無退。

中外要聞

●條陳南昌教案翻議　南昌教案由外部與法使磋商允認賠欵數十萬兩並將藩臬兩司贛紳數名一律革職政府大員以爲大失我主權者極力反對均願翻案茲聞官場中人云前有某侍御因南昌教案事遞一封奏略云按照江督贛撫電稱江令逝世並非自刎確係因王教士刺傷我國決難認咎然外部徒事媚外不能據理力爭失去主權累及無辜恐人民不服激成滋亂貽誤大局懇希毋庸允准再飭外部另行磋商以保全主權等語奉　旨外部知道矣蓋政府大員對于此草約多有煩言故議妥日久而未見簽押然如今將此約全行翻案則外部失信他國故當道諸公頗費躊躇云

●英派提督入藏　日前藏約全權張觀察蔭棠電稱現印度總督奉英政府命派前入藏之某提督再赴西藏勘查地勢測量軍路其意難測等語茲聞人云英國對付西藏固無奢望而前年派兵入藏者唯欲令西藏開放商埠以振興印藏商務耳故於此次藏約大行退讓毫不求特別利權且約內聲明英國決不窺佔西藏土地並不干預內政可以知英國對付西藏政策蓋此次印度總督派某提督入藏者惟爲勘查地勢起見並無奢望然中國官員以猜疑待之實不爲中英兩國取也

●奉天安東大東溝開埠問題　趙次帥刻已派員赴奉天安東大東溝劃定地段預備開埠一節屢誌前報茲聞趙次帥以前電稱現奉命派員勘查地界以便早日開埠但劃定租界墊平地段需欵甚鉅而奉省受日俄交戰之餘人民困憊度支奇絀此項鉅欵萬難籌措希由部庫籌撥四十萬元以資開埠經費云云想戶部必允撥欵矣

●咨飭疏通候補　聞政府王大臣議商各省候補人員爲數甚多近又裁倂各項局所尤覺事少人浮不獨補署無期卽差委亦難徧及致令投閒置散株守經年在自好者苦於沉滯無聊而不肖者且將鑽營奔競實與吏治官方大有關繫擬咨各省督撫詳細籌議應如何疏通候補人員之處擬定章程免致久閒以示體恤

●派員考察監獄　中國牢獄之制頗不完全西人以爲野蠻之極蓋非　朝廷憐卹百性之至意故月前修訂法律大臣沈伍兩侍耶奏請以改良監獄爲當務之急實有所以也茲聞刑部決計擬派法律館提調饒昌麟君赴日本認眞考察監獄制度以爲改良地步刻已照會日本使署請爲照料聞饒君刻已備齊旅裝日內將出京東渡云

雜報

●軍器之防　河北來人云前日有一西人携帶快槍內裝子藥彈乘頭等汽車來埠詎不加謹愼誤觸槍機轟然一聲彈丸飛出將一等車牆射透幸未傷人車長怒其疏防飭令巡警將該西人拘執聞將備文解回天津訊究

●行旅維艱　十一日晚間由遼陽搭坐火車客人行至海城以南在車被刦賊人四名皆執鎗办坐客廿餘人共搜去銀洋三千餘元遼陽大津舘來營送銀計一千一百元福盛木舖櫃夥受傷甚重當將同櫃生死尚不可知泰和川櫃夥携資歸里數年積累洋三百元旦盡沒現在營口住店每日顚狂欲尋自盡幸被同人看守未致喪命盜賊如此橫行隨車刦搶行將聞風裹足不敢前來是在有衛商保民之責者設法安全之或查獲盜賊而重懲之殺一警衆車務自日見暢通矣

●土匪綁票　昨由蓋城來人云城東一里有兄弟同居家稱小康甲住營埠義順華商舖乙在家躬耕旬前甲由埠歸家匪等偵悉是夜糾衆闖進甲室値甲進城未返匪曰既來不能空回搜刦財物而外并綁乙去臨行告其家人非洋蚨五千翼絕不容贖云云刻間綁去經旬毫無影嚮不知乙之性命如何云

●示禁五行　昨由海城來人云管洛生大令履任以來凡民間日常需用以及喪禮等事務尚實際至於婚娶用鼓樂綵輿僧道之誦經二樂尙之鼓吹二槓房之綵轎四紙畫匠之紉靈五紙張舖之香楮花樂舖之烟炮等概示禁絕不准市賣云

●賊偷客商　本埠鋪商客號近日多有毛賊進內偷盜什物日前西義順客屋業已數次被盜失去眼鏡水煙袋等物忽於昨午後捉一毛賊詢爲糊棚手藝富送局究辦追尋失物云

●糧舟抵埠　近數日間新到上河裝載糧豆之牛槽小船共三百餘隻來往水程頗覺通暢云云

醫方錄要

●鼠疫奇方　前廣州府沈傳義現爲惠潮嘉道近聞羊城多患核症心爲憂之特郵寄奇方以資敷治茲將原函幷方照錄於左鼠疫起核殺人反掌中外名醫束手無策傳義兼蒞惠州改良府獄設罪犯習藝所醫調病犯近有患鼠疫者胯間腋下起核如桃如餅百藥無效後有守軍獻一方用藥如左敷之一宿即愈屢試屢驗眞奇方也爰登諸報以廣其傳並令守軍照方採藥若干寄省城各生草藥舖以備比對蓋恐易地殊方藥名各別或致錯悞仁人君子留心采取馬前一粒(熟藥店買)用酒反磨三分之一取汁和入後藥反磨者手向外轉不可使藥氣觸鼻再受其毒　馬前一名馬眼一名番木鼈　金絲虎南蛇命仙手掌荷干菜鬧陽花葉熱葱(又名細葱係藤本)白花菜(又名百紙菜)羊胆草黃花仰右生草藥九味合馬前汁搗爛敷核上初起即敷兩日內尙可敷救神效奇方切勿輕視敷藥後出惡血不必疑忌　又坤任潮陽縣董元良因潮屬頗見時疫特函寄經驗治鼠疫起核方以廣流傳而資敷治其方照錄於左川銀花五錢秦當歸二錢五分川紅花五錢蒲公英一兩粉甘草一錢五分東洋參一錢五分此方屢用屢驗神效非常或有議東洋參可以不用偶試之即不見效患此疫者照方服之一二劑即奏勿藥切不可隨意增減重症加倍淸水煎服兼服消核紫金丹一樽見效更速已起核者並貼陰陽再造膏一二張即全消散幸勿遲疑貽誤

NEWCHWANG, TUESDAY, MAY 8, 1906.

Morning broke drizzling yesterday, and during the afternoon the rain came down quite steadily. The opening by Lt.-Col. Yokura of his tennis courts was interfered with for a second time.

The execution of the doomed highwayman Li (李) has been put off to the first fine afternoon. The weather granted fair, it may take place to-day at the time fixed (2 p.m.)

Mrs. A. G. Cox was to leave the port by steamer for Shanghai yesterday afternoon. She will proceed thence to Japan on a sightseeing tour about the end of the month, then to depart for her home in Scotland on a visit.

We wish her a pleasant travel and a speedy return.

We learn with pleasure of the complete recovery of Mr. and Mrs. Clarke. Mrs. Carson is said to be gaining in strength.

We are however informed to our regret that Mrs. Smith and Mrs. McCaslin are also under the weather, but hope they will quickly recover.

It is understood that Mrs. I. B. Gillespie and her children are going to Peitaiho by to-morrow mornings' train.

Mr. Geo. Gleason who came back from Tieling yesterday afternoon appears to be favourably impressed with the proposal of establishing a new branch of the Y.M.C.A. Military Club at the northern town. He will lay his plan in peason, it is said, before the Central Committee at Tokyo, when he returns to Japan, leaving Newchwang about next Thursday, in company with Mrs. Gleason and their young daughter.

In this connection, we may publish the following list of interesting figures that will give a fair idea of what the Tent Work Department of the Y. M. C. A. has done in Manchuia from its opening on Sept. 26th '04 to the withdrawal of the troops from the field on March 15th last.

Report of the Manchurian Army Y.M.C.A.:—

1,547,483 sheets of paper used.
757,159 envelopes used.
1,053,381 postal cards used.
Total pieces letter supplies 3,385,023.
101,229 Bible portions given.
312,033 religious tracts.
Total pieces religious literature 416,548. 3,385 Testaments.
377,485 men received letter supplies.
87,940 men received supplies like buttons, thread, soap, etc.
152,213 men used the barbers outfits.
26,168 books were loaned.
18,500 men used the laundry at Feng-huang-cheng.
764 visits were made to hospitals and distant points.
613 religious meetings were held.
1,752 gramaphone, concerts, lantern lectures, and other meetings were held.
1,566,379 men entered the different branches. It is estimated that of these nearly 775,000 were different men, or in other words that about three fourths of this Army of a million entered the Y.M.C.A.

Dr. I. Nitobe, the celebrated author of the "Bushido," has given a visit to Newchwang, erriving late last night and, we understand, is at the "Manchuria." The visitor is no less widely noted as an authority on matters agricultural than for his profound scholarship.

He came to Manchuria about a month ago in response to a pressing invitation from H. E. Tartar-Gen. Chao Erh Sun who was extremely anxious to engage him as agricultural advisor. However, the Imperial University at Kyoto in which he is a senior professor, valuing his services too highly to dispense with, has repeatedly urged him to resume his chair with the least delay, to which he has readily yielded. On his recommendation, Mr. Yokoyama has entered the Chinese service at Mukden as a good substitute.

Dr. Nitobe is now on his way back to Japan.

The "Bushido" is conceded to be the finest specimen of King's English ever written yet by a Japanese who has clothed in a foreign language the subtle Japanese thought in all its shifting moods as are seen by a native.

Its beauty and strength of expression have defied all rivalry and stand out serenely alone in quiet modesty as both the spirit depicted and the author himself likewise do above their compeers.

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理 第一樓 營口ホテル 元神廟街九十六號（電話八四番）

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街 店主 片山小みつ（電話一四五番）

旅館 竹村館 永世街二十二號 店主 麻田久二（電話五一）

旅館 大和館 永世街三十四號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町三百五十九号 店主 和田常松

和洋御料理 公樂園 南永世街

東京生蕎麥 一式 東庵 元神廟（電話百五十九）

旅館料理 金城ホテル 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 盛田留吉

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 さるそば 第二更科 營口元神廟街 永世街鶴の湯角

御料理 一力 並二溫泉 毎日新湯 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 住松信大益

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

奉天旅館料理屋案内

旅館 奉天館 奉天城内鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話一五）

和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 瑞豊館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話 號）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西門通（元紅葉館跡） 溫泉付大勉強キレーヂライシヒ（電話 號）

旅館料理店 日の出樓 奉天小西關大街南側 樓主 大瀬七造（電話十七號）

旅館料理店 日盛館 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 館主 入江熊男（電話 號）

旅館料理店 梅松館 館主 押尾富次郎（電話 號）

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 東洋館 奉天大西門外小什字街（電話 號） 主任 藤島初野

御料理 梅ヶ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 日章館 牛肉すき燒 雞肉 日章亭 奉天小西關大什字街南へ入（電話 號）

旅館料理店 旭館本店 旭館支店 奉天大西關 奉天十間房 館主 原田新吉（電話 号）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

さるそば 更科 營口支店 奉天小西門外金城館前

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 林德松

御料理會席 菊水館 主任 朝枝團揵

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席御料理 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

和洋料理 御旅館 滿洲ホテル 遼陽西街西門二七号 上松榮治郎

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.
Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

注意

英國製二連銃中古附屬一切賣却したし御望み之御方左記の所へ御一報被下度
日本郵便局私書函四號 W N 生

一和洋御料理 遼東館 遼陽城内東街

本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勧に依り宏荘美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮寧と安全とするは弊館の持色に御座候

御料理 旅館 扶桑館

奉天大西關大什字街 第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話 号

奉天小西關新來當街々 御料理本店 金城館（電話十九）
奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル（電話二〇）
營口永世街 御料理支店 金城館（電話八三）
營口永世街 御旅館支店 金城ホテル
大連市吉野町 御料理支店 金城館
大連市吉野町 御旅館支店 金城館

弊館に於ては料理食品の精選は勿論器具一切取扱等凡てに注意仕り各位の御意に反かざる樣一意相勉め申候
猶は奉天に於ける旅館は料理店と南北に三四丁を隔て全くの御商人向き旅館に御坐候自然料理店と兼ぬるを忌み給ふ御方も之あらんかとて一言申添置候

和洋會席 御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候
營口永世街二本町 日本館（電話百三十）
各位樣

業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘備致從來の御高恩に酬ゆがため非常大勉強仕高需に應し可申候條尙不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候 敬具

活版印刷并に製本
弊所特色
●印刷鮮明 ●價格低廉 ●叮嚀專一 ●期日正確
營口永世街二本町入口東角 川本活版所

美味安價西洋料理 牛莊亭

營口永世街五十二號鶴の湯東隣

着荷廣告

筑前博多單帶、仝伊達卷、御召類、セル地、ゴム引防水布外套、金庫、錫製品各種、輕便水濾器械、洗桶、專賣特許米洗器、洋傘、萬年筆、洋菓子、ネクタイ、等勝手道具いろ〳〵
營口 加藤洋行（電話八十番）

明治生命保險株式會社牛莊代理店 加藤洋行
四月十八日ヨリ仝廿八日マテ本社事務員仝診査醫當地滯在契約ノ御便利相計リ申候

第二回新荷着

金升洋行
盛進商行

新荷着 高等麥酒 スペシャルライト

スペシャルライトはピルスナビーヤにして原料精撰風味高尙夏期唯一の好飲料なり
醸造元 大日本麥酒株式會社
滿洲特約販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部（電話五番）

爲替相場（五月七日）
日本向 百〇一圓五十錢（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩二十五錢（同）
天津向 一百〇二圓六十七錢五厘（百弗に付）

日本品最近物價表 加藤洋行
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 一全 七圓五十錢
一西洋紙 一帖（六十枚） 六十錢
一狀袋 二十枚續 三錢二厘以上四錢
一仝 百枚 十三錢以上十八錢
一室內裝飾品及寢具 矢野洋行
一滿圃 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン 十站 六圓五十錢以上三十五圓
一疊 二圓六十錢以上三圓
一滿樣 麻縫通 十枚 八圓
一綿縫通 一疊敷 三圓
仝 三圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy 80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙